

目次

まえがき・・・3

第1章 日本を襲う4年後の危機・・・13

2歳の子供が急性リンパ性白血病と診断された：14

「信頼」を失い、崖っぷちに立つ日本：18

青酸カリより2000倍毒性が高いセシウム：23

人間の一生では処理できない量の放射性物質が漏れてしまった：26

旧ソ連よりも住民の人命を軽視した日本政府の対応：31

チェルノブイリ事故が語る「4年後の現実」：35

4年後から小児甲状腺がんが急増した：41

「たいしたことにはならない」というIAEAの報告書がアダになった：45

「原発から遠いので安心」という油断は禁物：47

小児甲状腺がん急増で、すべての原発は終わる：50

数百人規模？ 甲状腺がん発症が社会に与える衝撃：52

欧州の論文では最大40万人のがん患者が出る可能性：56

ホールボディカウンターのウソ：60

年100ミリシーベルトの被曝で2倍の人ががんで死ぬ：64

100ミリシーベルトでがんの危険性が100倍以上になる子供たち：67

人類初めての経験で想定外のがん発生も想定される：70

プルトニウム汚染魚の焼却で肺がんが急増する恐怖：74

日本は海を汚染した加害者側になり、国際問題にも発展する：77

交通機関が放射性物質をせつせと全国に運んでいる：80

除染しなければ安心して住めるまでに100年かかる：83

- 牛乳、米、牛肉、キノコ……広がり続ける汚染の恐怖……88
- 今のままでは4年後は和牛を食べられなくなっている!?……91
- 「政府の決めた暫定基準値」を信じてはいけない……95
- セシウムより危険なストロンチウムは測っていない……98
- 今後25年間、汚染された野菜が出回る恐れもある……100
- セシウム汚染米、政府の出荷停止基準値は緩すぎる……102
- 水道水は安全だが、井戸水は危険……105
- 日本以外では年1ミリシーベルト以下が常識……107
- 「我慢の限界」が日本よりシビアなヨーロッパ……109
- 日本の食品は海外で恐れられ、売れなくなる……114
- 「メイド・イン・ジャパン」が輸出できなくなるシナリオ……116

- 海外では日本製はすべて汚染されていると錯覚……117
- このままでは観光客も外資系企業も戻らない……120
- 国際的な賠償額は低く抑えられる……123

第3章 原発と電力が抱える4年後の危機・・・127

- 4年後、原発は再開できなくなる……128
- ストレステストは本気でやれば全原発が不合格になる……130
- ストレステストが抱える3つの欠陥……132
- 再開の最低条件は「救命ボートを用意すること」……137
- 震度6で東日本の大半の原発が壊れた……140
- 石油火力発電で原子力発電の不足分は補える……145
- 今後、西日本が深刻な電力不足危機に直面する可能性……147

第4章

- 原発依存度が高い九州電力と関西電力 : 149
- 泊原発の再開は科学的には完全に「ノー」 : 151
- 火力発電所を建設するのに7年かかり、2015年には間に合わない : 154
- すでに原発としての力を失っている「福島原発」 : 156
- 福島原発は15年かけて切り刻み、ドラム缶に詰めて処理へ : 158
- 競争のない社会で腐った東京電力の「罪と罰」 : 160
- 原発はこの先200年やらないほうがいい : 165
- 2015年クライシスを乗り越える生き方・・・ : 169

いかがわしい中に真実がある : 170

「情報のただ漏れ」が既存体制を崩壊させる : 174

訴訟に備え、当時の所在証明書を発行してもらおう : 175

不動産や家の購入を考えている方に : 179

国民を見殺しにしない新しい「気象庁」が必要 : 181

関東大震災に学ぶと、ビジネスチャンスが見えてくる : 183

原発はなくなっても石油、石炭は豊富にある : 187

原発を凍結して、石油、石炭、天然ガスの火力発電を主力にする : 192

原発問題に地球温暖化問題を絡めてはいけない : 195

これからの日本人の生き方に求められるものとは何か : 201

現代日本の悪弊を一掃すれば、自立した国家として生きていける : 204

科学者としての信念と心は「転向」していない : 209

私がいま思うこと——1人でも多くの人を助けるために : 212

誠実な社会づくりを急ごう : 218

あとがき : 220